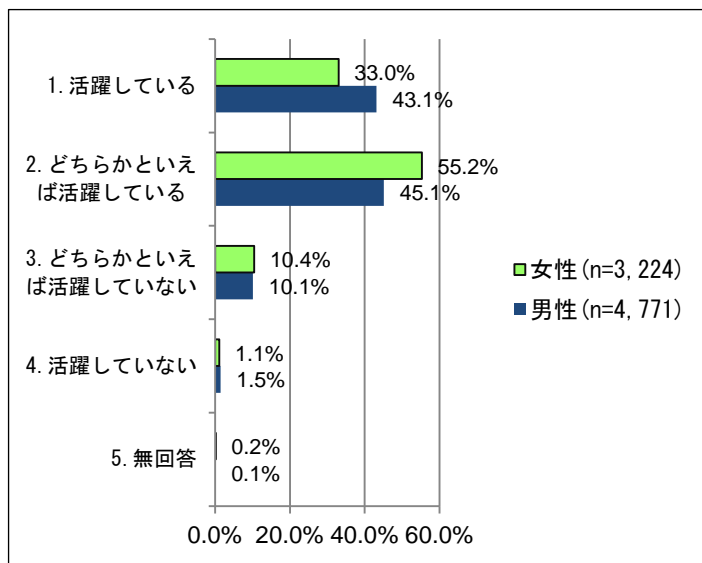


女性の活躍について

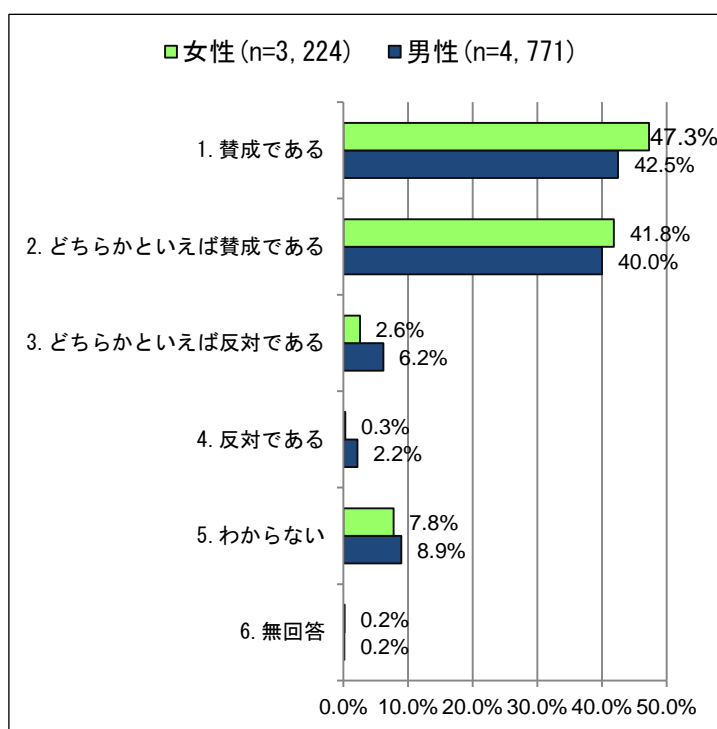
●あなた自身、あるいは、あなたの身近にいる女性は総じて、仕事で活躍していると思いますか？
最も近いものを1つ選んでください。

	男性	女性	総計
1.活躍している	2,058	1,064	3,122
2.どちらかといえば活躍している	2,151	1,781	3,932
3.どちらかといえば活躍していない	483	336	819
4.活躍していない	72	37	109
5.無回答	7	6	13
総計	4,771	3,224	7,995



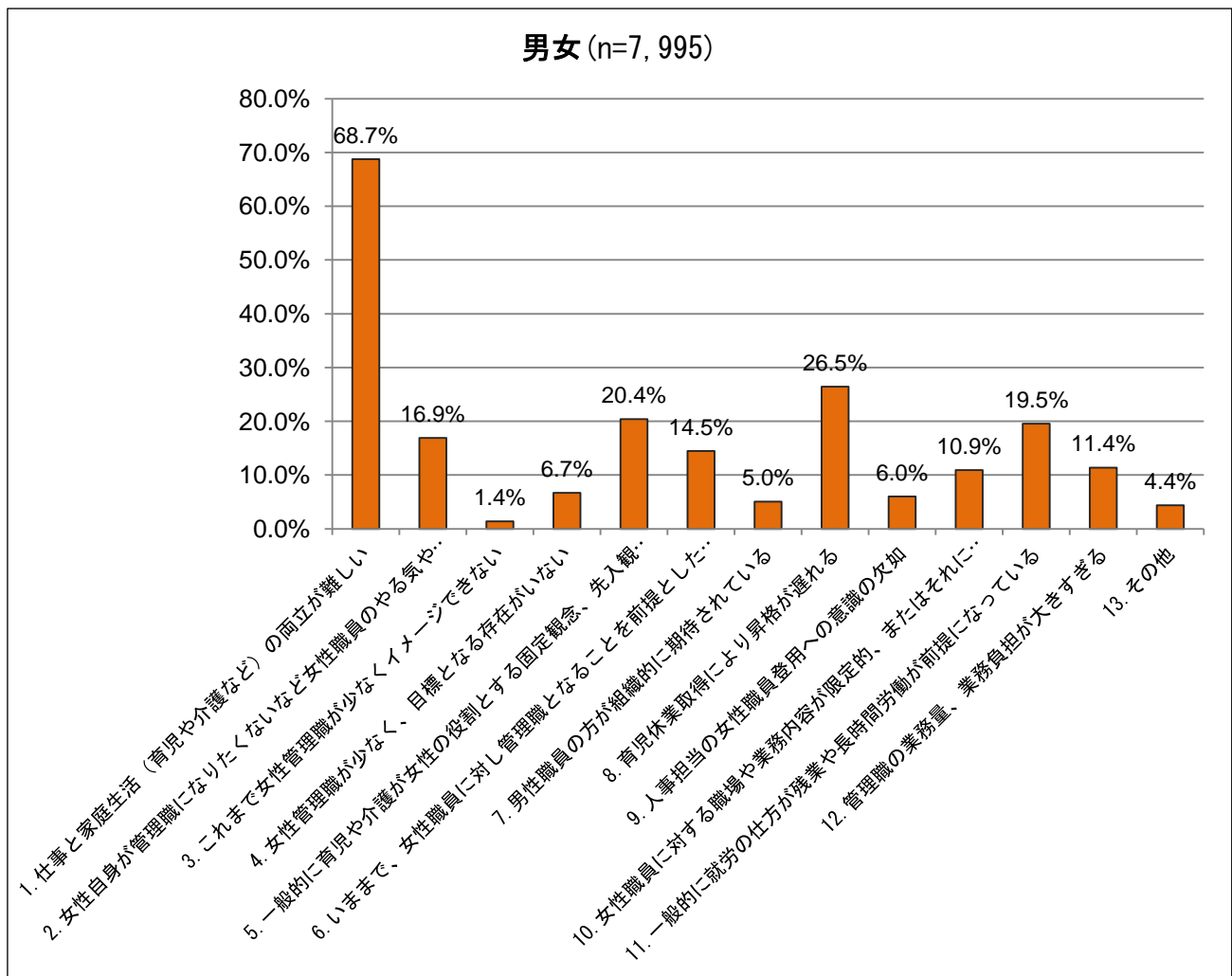
●大阪市男女共同参画基本計画において、国の目標に基づき2020年までに「指導的立場の女性の割合を30%にする」を目標に掲げています。国をあげて、女性の活躍を促進していることについてどう思いますか？
最も近いものを1つ選んでください。

	男性	女性	総計
1.賛成である	2,028	1,525	3,553
2.どちらかといえば賛成である	1,908	1,349	3,257
3.どちらかといえば反対である	295	83	378
4.反対である	105	10	115
5.わからない	427	251	678
6.無回答	8	6	14
総計	4,771	3,224	7,995



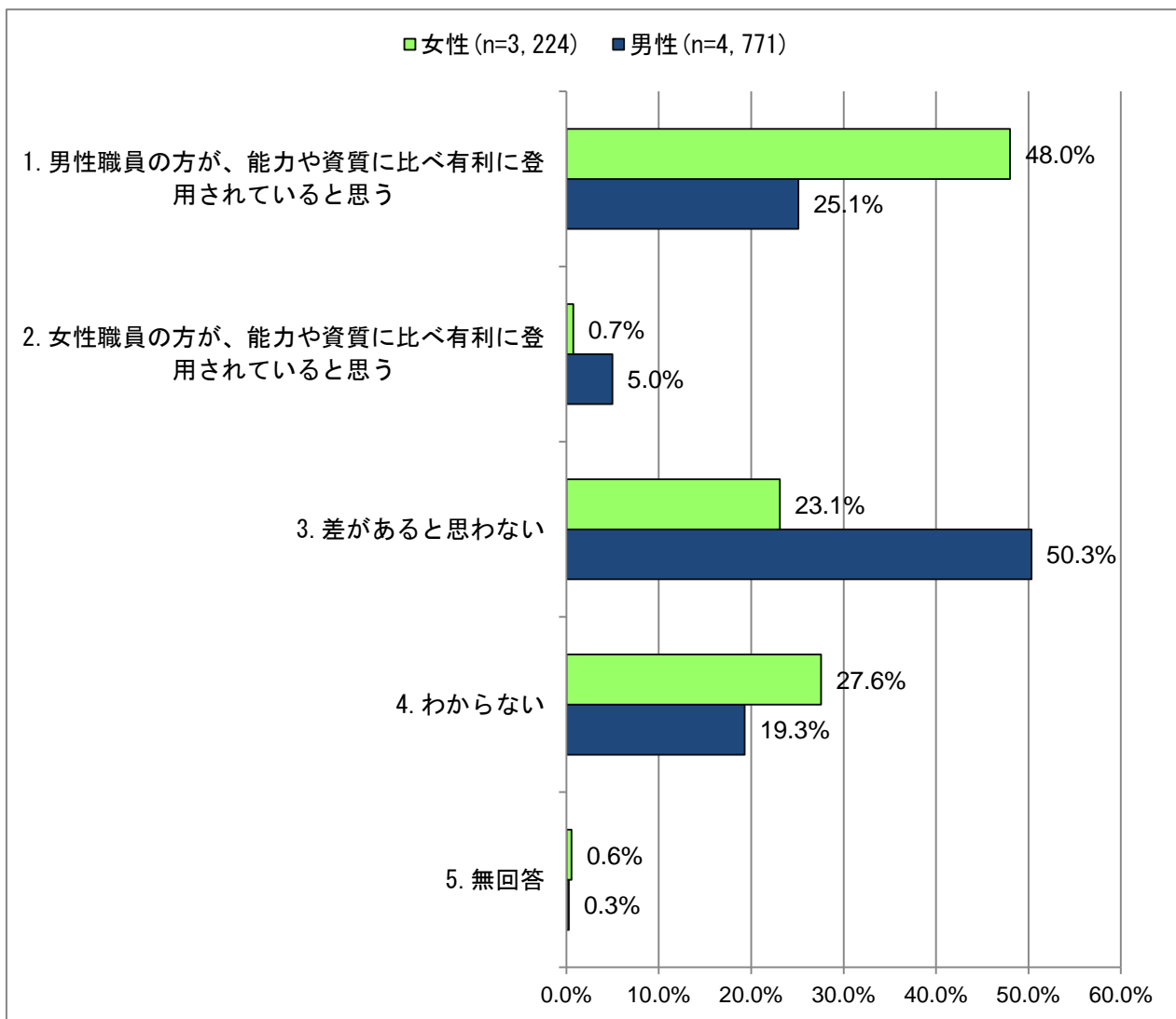
●大阪市の課長代理級も含む課長級以上の管理職（以下、管理職という）の割合は13.1%となっています。女性管理職の割合が少ない要因は何だと思われますか？3つまで選んでください。

	男性	女性	総計
1. 仕事と家庭生活（育児や介護など）の両立が難しい	3,306	2,190	5,496
2. 女性自身が管理職になりたくないなど女性職員のやる気や意識の問題	1,049	304	1,353
3. これまで女性管理職が少なくイメージできない	59	53	112
4. 女性管理職が少なく、目標となる存在がいらない	348	185	533
5. 一般的に育児や介護が女性の役割とする固定観念、先入観などの古い考え	1,048	585	1,633
6. いままで、女性職員に対し管理職となることを前提とした人材育成をしてこなかった	686	473	1,159
7. 男性職員の方が組織的に期待されている	178	225	403
8. 育児休業取得により昇格が遅れる	1,462	653	2,115
9. 人事担当の女性職員登用への意識の欠如	315	165	480
10. 女性職員に対する職場や業務内容が限定的、またはそれに伴う業務の経験不足	725	147	872
11. 一般的に就労の仕方が残業や長時間労働が前提になっている	922	641	1,563
12. 管理職の業務量、業務負担が大きすぎる	603	307	910
13. その他	290	62	352



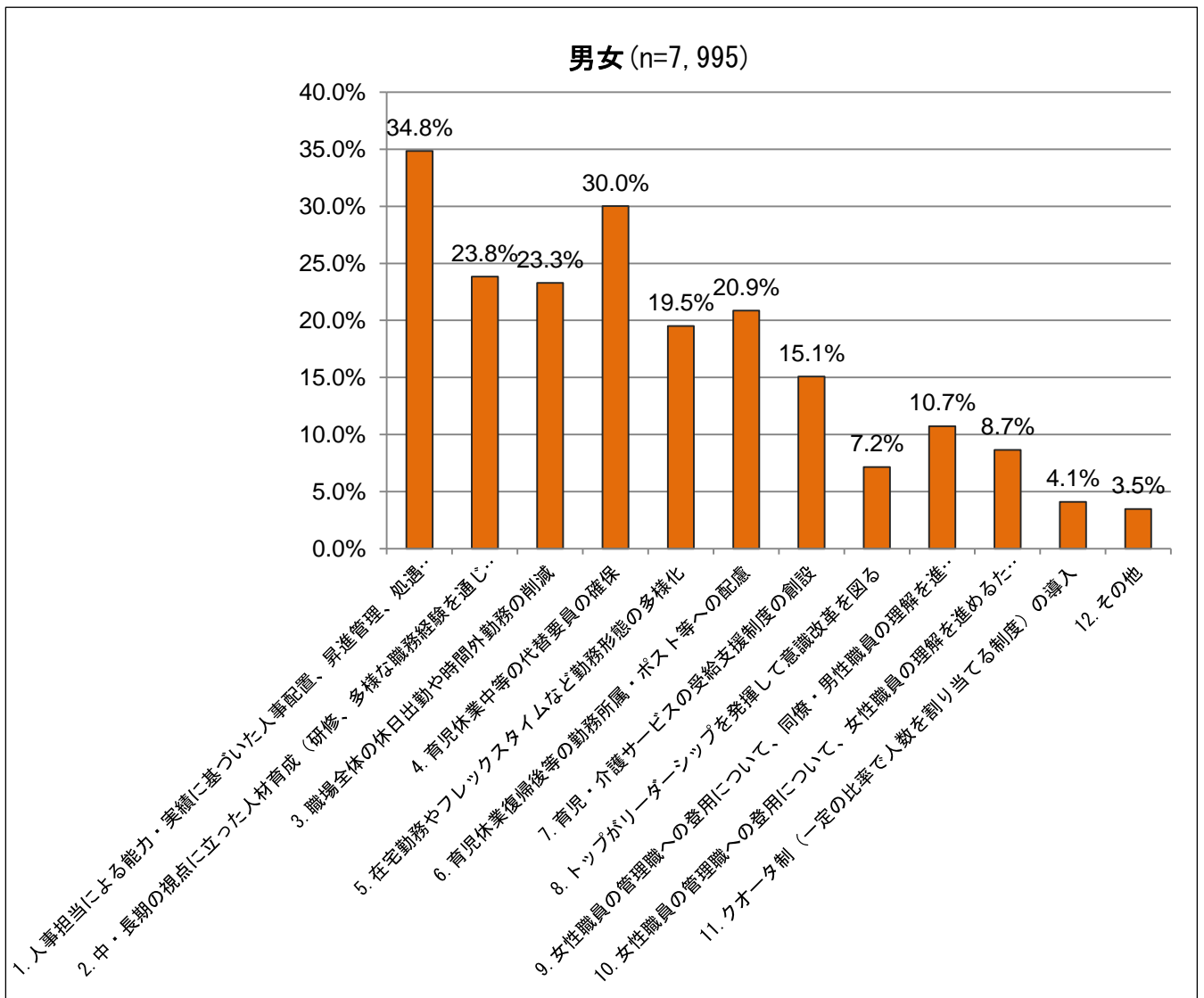
●あなたは、男性職員と女性職員では管理職への登用に差があると思われますか？

	男性	女性	総計
1.男性職員の方が、能力や資質に比べ有利に登用されていると思う	1,198	1,548	2,746
2.女性職員の方が、能力や資質に比べ有利に登用されていると思う	238	24	262
3.差があると思わない	2,401	745	3,146
4.わからない	921	889	1,810
5.無回答	13	18	31
総計	4,771	3,224	7,995



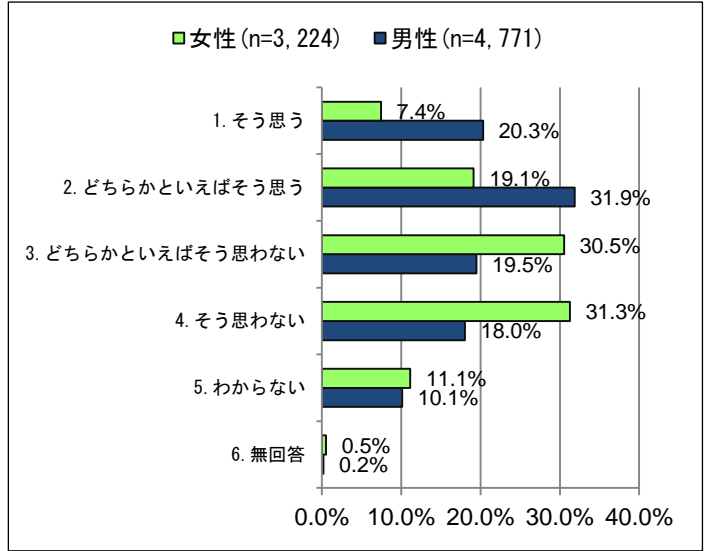
●今後、女性の管理職への登用について、優先的に取り組むべきことは何だと思われますか？
3つまで選んでください。

	男性	女性	総計
1.人事担当による能力・実績に基づいた人事配置、昇進管理、処遇の徹底	2,142	643	2,785
2.中・長期の視点に立った人材育成(研修、多様な職務経験を通じた職域拡大)	1,394	511	1,905
3.職場全体の休日出勤や時間外勤務の削減	1,182	680	1,862
4.育児休業中等の代替要員の確保	1,786	613	2,399
5.在宅勤務やフレックスタイムなど勤務形態の多様化	958	601	1,559
6.育児休業復帰後等の勤務所属・ポスト等への配慮	1,222	445	1,667
7.育児・介護サービスの受給支援制度の創設	861	345	1,206
8.トップがリーダーシップを発揮して意識改革を図る	435	137	572
9.女性職員の管理職への登用について、同僚・男性職員の理解を進めるための意識の啓発	590	268	858
10.女性職員の管理職への登用について、女性職員の理解を進めるための意識の啓発	539	154	693
11.クォータ制(一定の比率で人数を割り当てる制度)の導入	236	92	328
12.その他	217	61	278



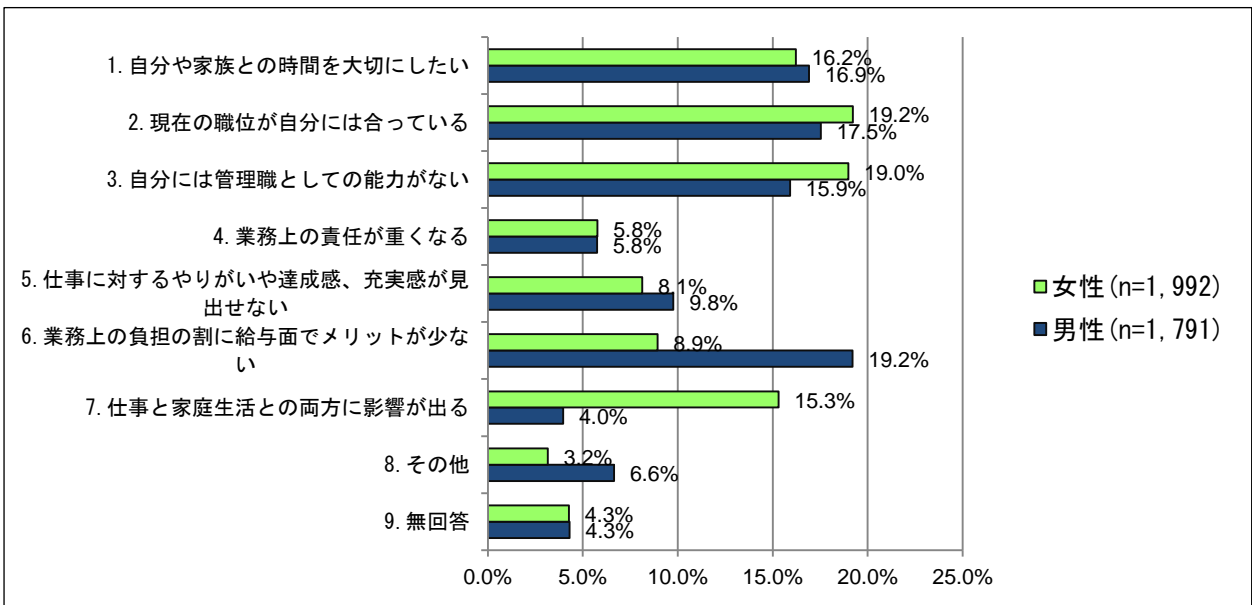
●あなたは現在の職位より上位の職位につきたいと思われますか？

	男性	女性	総計
1. そう思う	969	240	1,209
2. どちらかといえばそう思う	1,520	617	2,137
3. どちらかといえばそう思わない	930	984	1,914
4. そう思わない	861	1,008	1,869
5. わからない	482	359	841
6. 無回答	9	16	25
総計	4,771	3,224	7,995



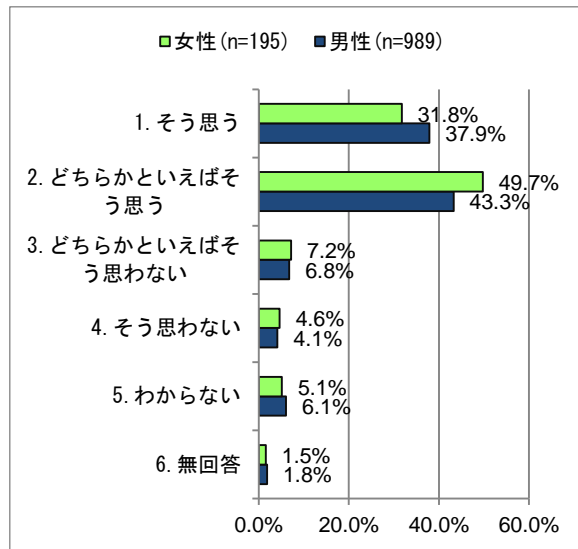
●あなたは現在の職位より上位の職位につきたいと思われますか？の問で、「3. どちらかといえばそう思わない」「4. そう思わない」を選んだ方にお尋ねします。そう思う理由は何ですか？

	男性	女性	総計
1. 自分や家族との時間を大切にしたい	303	323	626
2. 現在の職位が自分には合っている	314	383	697
3. 自分には管理職としての能力がない	285	378	663
4. 業務上の責任が重くなる	103	115	218
5. 仕事に対するやりがいや達成感、充実感が見出せない	175	162	337
6. 業務上の負担の割に給与面でメリットが少ない	344	178	522
7. 仕事と家庭生活との両方に影響が出る	71	305	376
8. その他	119	63	182
9. 無回答	77	85	162
総計	1,791	1,992	3,783



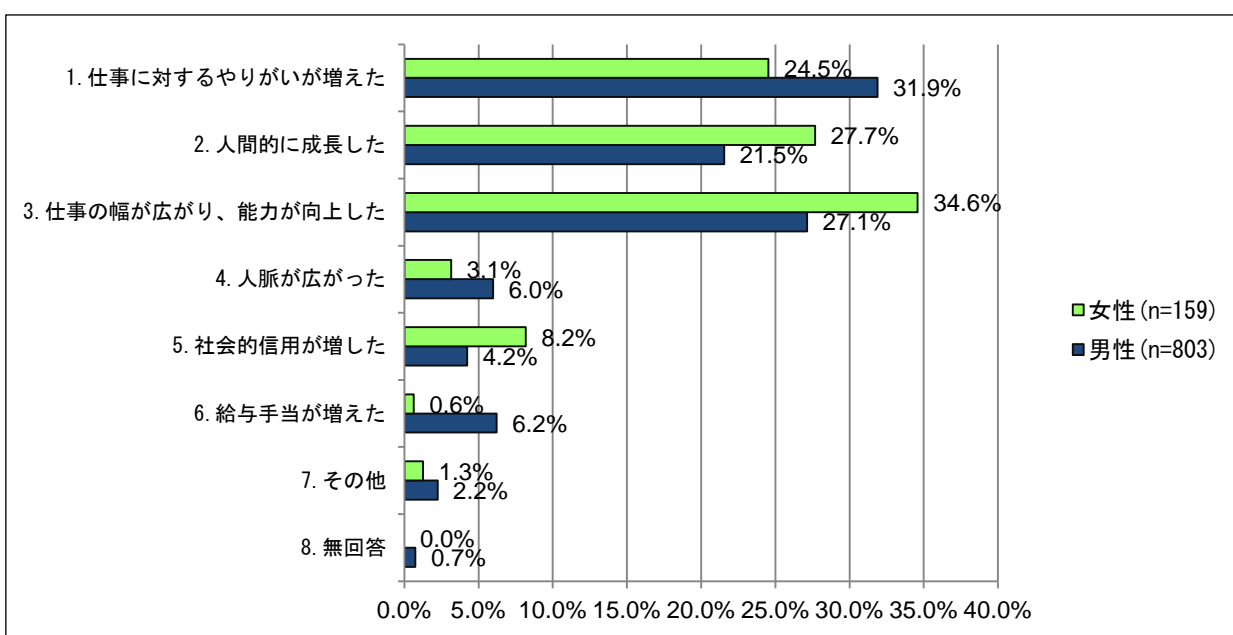
●現在管理職の方にお尋ねします。あなたは、管理職についてよかったですと思えますか？

	男性	女性	総計
1.そう思う	375	62	437
2.どちらかといえばそう思う	428	97	525
3.どちらかといえばそう思わない	67	14	81
4.そう思わない	41	9	50
5.わからない	60	10	70
6.無回答	18	3	21
総計	989	195	1,184



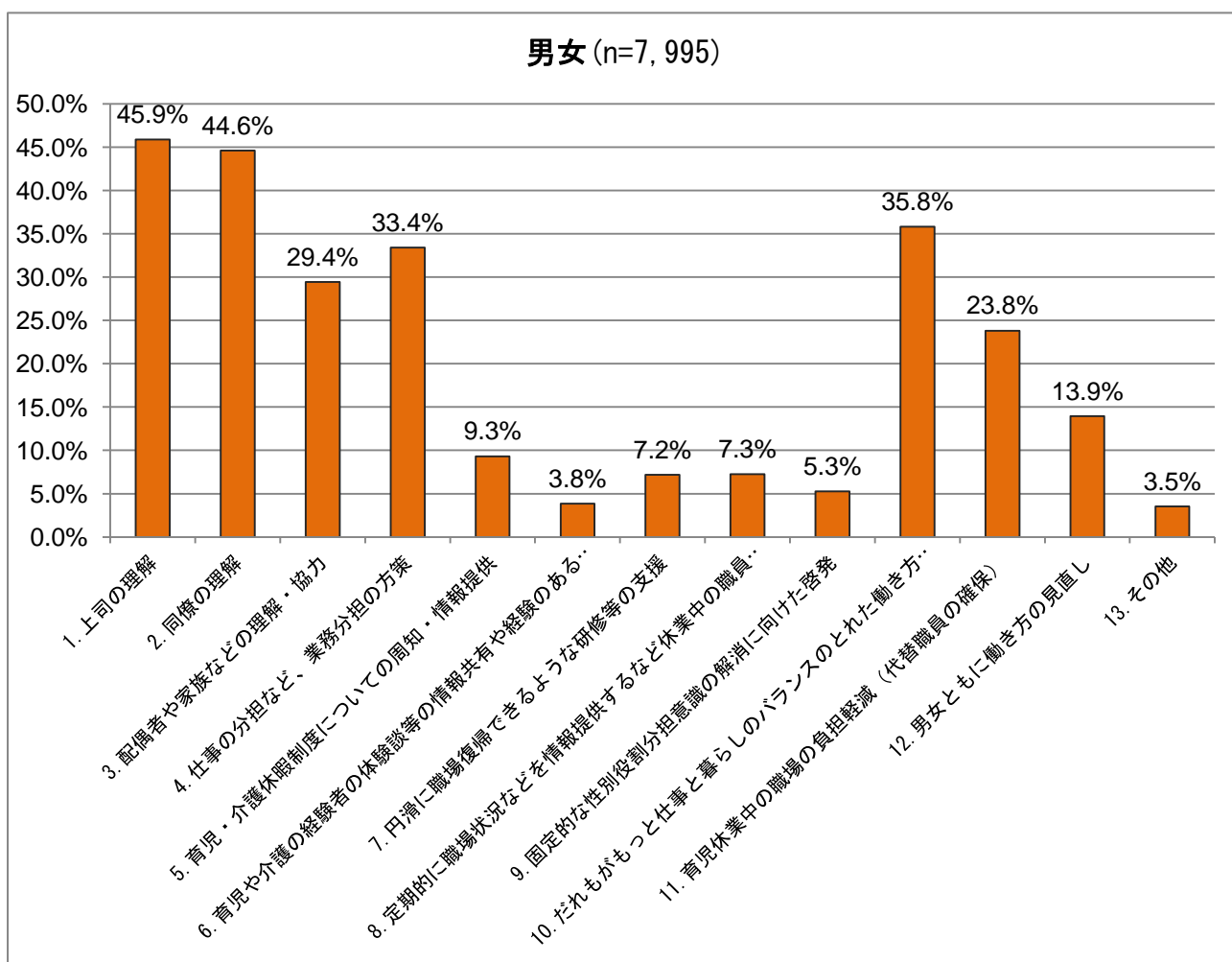
●管理職についてよかったですと思えますか？の問で、「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」を選んだ方にお尋ねします。そう思う理由は何ですか？

	男性	女性	総計
1.仕事に対するやりがいが増えた	256	39	295
2.人間的に成長した	173	44	217
3.仕事の幅が広がり、能力が向上した	218	55	273
4.人脈が広がった	48	5	53
5.社会的信用が増した	34	13	47
6.給与手当が増えた	50	1	51
7.その他	18	2	20
8.無回答	6		6
総計	803	159	962



●大阪市の職員として、仕事や子育て・介護を両立し、男女がともに働き続けるために、効果的と思われる取組みはどれですか？ 3つまで選んでください。

	男性	女性	総計
1.上司の理解	2,276	1,391	3,667
2.同僚の理解	2,301	1,265	3,566
3.配偶者や家族などの理解・協力	1,280	1,074	2,354
4.仕事の分担など、業務分担の方策	1,755	917	2,672
5.育児・介護休暇制度についての周知・情報提供	591	154	745
6.育児や介護の経験者の体験談等の情報共有や経験のある先輩職員によるメンター制度	168	139	307
7.円滑に職場復帰できるような研修等の支援	371	202	573
8.定期的に職場状況などを情報提供するなど休業中の職員に対するコミュニケーションの充実	367	214	581
9.固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発	229	191	420
10.だれもがもっと仕事と暮らしのバランスのとれた働き方をする組織風土や職場環境づくり	1,454	1,409	2,863
11.育児休業中の職場の負担軽減(代替職員の確保)	1,288	615	1,903
12.男女ともに働き方の見直し	550	565	1,115
13.その他	187	96	283



●大阪市では今後、すべての女性がいいきと自分らしく活躍できるまち、活躍のチャンスがあるまちをめざして取組みを進めていきたいと考えています。大阪市としてどのような取組みをすべきだと思いますか？3つまで選択してください。

	男性	女性	総計
1.官民をあげて「女性の活躍促進」に取り組むための企業間ネットワークの形成	1,123	536	1,659
2.各分野で活躍している女性をロールモデルとして提示	614	272	886
3.業種・職種を超えた働く女性の交流の場	870	519	1,389
4.経営者や管理職の意識改革	1,554	921	2,475
5.女性の人生設計(ライフプランニング)支援策の充実	830	485	1,315
6.社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の充実	610	538	1,148
7.男性の意識改革や働き方の見直し	1,318	976	2,294
8.子どもを持つ女性が働き続けられる子育て支援の充実	2,807	2,340	5,147
9.一旦離職した女性の再就職支援の充実	1,647	1,208	2,855
10.その他	165	71	236

